

認知症予防について

わが国における高齢者認知症の実態～久山町研究～

久山町研究というのをご存じでしょうか？1961年から、福岡県久山町（人口約8,400人）の住民を対象に行われた疫学調査です。久山町住民は全国平均とほぼ同じ年齢・職業分布を持っており、偏りのほとんどない平均的な日本人集団です。

この久山町研究における認知症の有病率調査の衝撃的な結果がこちらです。2人に1人は認知症になります。つまり、誰でもなり得る身近な病気なのです。

60歳以上の高齢住民が死亡するまでのいずれかの時点で認知症を発症する確率は

55%

認知症：「共生」と「予防」を両輪として！

令和元年6月18日厚労省より「認知症施策推進大綱」がとりまとめられました。この大綱の中では「共生」と「予防」を車の両輪として施策を推進する、とされています。ここでの「予防」とは「認知症にならない」という意味ではなく、「認知症になるのを遅らせる」「認知症になっても進行を緩やかにする」という意味です。

今のところ、右記のようなことが認知症の発症を遅らせることができる可能性が示唆されています。「遅らせること」は、介護の準備ができるということでもあると思います。是非、皆さんも取り組んでみてください！

- ◆運動不足の改善
- ◆糖尿病や高血圧症等の生活習慣病の予防、
- ◆社会参加による社会的孤立の解消や役割の保持



活動報告



令和元年9月18日
認知症初期集中支援部会を開催。各市の認知症初期集中支援チームに関連する職種の方と情報共有や症例検討を行いました。

活動予定

令和元年12月19日(木)
かかりつけ医認知症研修
令和2年1月29日(水)
かかりつけ医認知症研修
令和2年1月30日(木)
院内研修にてDVD上映会
令和2年2月1日(土) 研修会

北多摩北部保健医療圏
薫風会山田病院
認知症疾患医療センター